

《再開》

# 天文学の扉を開こう

## 4月の夜空

今月から、毎月の星空案内をぐんま天文台からお届けします。

4月は日の入りが午後6時よりも遅くなり、月末には6時半頃になります。すると夜の訪れが午後7時を過ぎて次第に遅くなっていきます。そこで、どの季節でも夜になっている午後9時頃の星空を中心にご案内します。

今年の4月は、木星と火星、土星の3つの惑星を見つけることができます。それぞれ、ふたご座、おとめ座、てんびん座に輝いています。毎日少しずつ動いているので、いずれは今いる星座を出て隣の星座に移ります。星座というと星座物語を連想しがちですが、惑星が空のどこに見えるかを大雑把に示す目印に使うことができます。これは、彗星でも小惑星でも超新星でも、何にでも使える方法です。

星の並びは星座の他にもあります。「北斗七星」や「冬の三大角」などです。4月は、西の空に「冬の三大角」、南東の空に「春の三大角」を見つけることができます。「冬の三大角」のそばには木星が、「春の三大角」の近くには火星が輝き、「春の三大角」を手がかりに土星を探すこともできます。このように、今月は肉眼で輝きを確かめられる5つの惑星のうち、火、木、土の各惑星を見ることができます。残るは水星と金星です。このうち水星は、来月下旬の夕暮れ時に見る機会が訪れます。

今年は5つの惑星を目撃しやすい年です。これに太陽（お日様）と月を合わせると、曜日の起源になったすべての天体を見ることができます。

### 4月のぐんま天文台のイベント

- ・19日（土）  
火星や木星を見よう  
（ボランティア自主企画）
- ・26日（土）  
みちくさツアー（屋外での星空解説）  
（ボランティア自主企画）
- ・26日（土）、27日（日）、29日（火）  
惑星・ふしぎ発見！

### ○星図の説明

4月15日午後9時の高山村の星空。1日の午後10時、30日の午後8時頃にも同じ星空になります。（月を除く。）





# リトルミュージアム

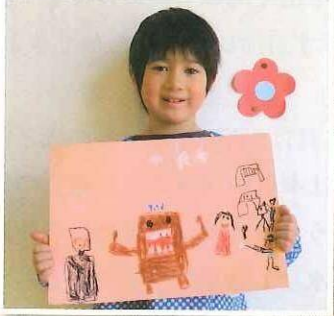
高山幼稚園5歳児の作品  
もうすぐ卒園です。幼稚園で楽しかったこと、思い出に残ったことを描きました。



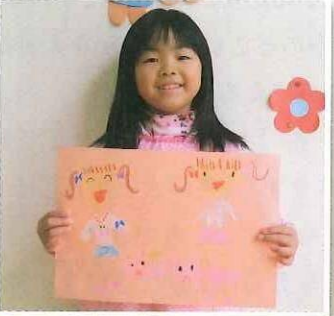
のぶこ  
松井 信彦 くん  
どーもくんとクイズをしました。



いぶき  
関根 伊吹 くん  
運動会でパラバルーンのお山を作りました。



じょう  
ウィルズ 誠 くん  
どーもくんと一緒に歌を歌いました。



りな  
小池 里奈 ちゃん  
遠足でフラワーパークに行きました。

# わが家のアイドル

※わが家のアイドル(6か月～4歳未満)を常時募集しています。相手を希望される保護者の方は、後場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(※A、B※) ☎26-7944(直通)



まな  
本宿 平形 真奈ちゃん(3歳)

私の名前は「まな」です。  
優しい真心のある女の子になってほしいとお父さんとお母さんが画数を見てつけてくれました。4人兄弟の中で女の子1人、だからお気に入りのエプロンをつけてお料理のお手伝いをしたり、弟のおむつを持ってきたり、離乳食を食べさせたり、お母さんのお手伝いをしています。  
床屋さんのおばあちゃんに「もう伸びたよ～」と言って髪をチョコチョコキしてもらるのが大好き！いつも、いい子で座っているからってご褒美(ほうび)がもらえるの。  
4月から年長のお兄ちゃんと一緒に幼稚園に行くのを楽しみにしています。

## こちら「4代目緑のふるさと協力隊」

昨年の4月11日に、緑のふるさと協力隊として高山村に派遣されて、あつという間に1年が経ちました。わたしがこの1年間で強く感じたのは、高山村は、宝の山ということです。豊かな自然、心を豊かにしてくれる四季折々の美しい風景、そして畑や山んぼでとれるおいしいお米や農作物、昔から、受け継がれてきた祭りや伝統芸能、文化。そして、一番の宝である、人。食べるものや身の回りのもの、生活の道具など、自分の手で生み出すことのできる人達、高山村のおいしい食材を、よりおいしく料理する高山村のお母さん方、そして生活の知恵や技を持った方々、地域の人達に見守られながら、すくすくと成長する子ども達、地域のために自分から主体的に行動する人達。高山村には、そんなすばらしい人達がいっぱいいます。そして、なごみや子育てサロン、地区ごとの行事など、人々が集まる場所、機会もたくさんあります。人と人とのつながりが、高山村の一番の宝だと感じています。人と人とのつながりが、新しいもの、よりよいもの、わくわくするものを生み出す原動力であると、わたしは感じています。高山村の皆さんが、地区を超えて、い



つばいっばい繋がってほしいなと思います。  
高山村での1年間、「こんな何もない山奥によく来たね」とよく言われました。でも、高山村には都会で手に入れようと思ってもなかなか手に入れないもの、お金では決して買えない魅力あふれる高山村のことを、地元広島に帰っても、ひとりでも多くの人に伝えていきたいと思っています。また高山村に遊びに来ますので、これからもどうぞよろしくお願ひします！1年間どうもありがとうございました！  
大好きな高山村の皆さんへ、たくさん感謝と愛をこめて  
第20期緑のふるさと協力隊  
林 由美枝